

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立清新第一小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	80.0%	80.0%
令和 7 年度の目標	80.0%	80.0%
令和 6 年度の結果	79.9%	75.3%
令和 5 年度の結果	68.2%	68.1%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	78.8%	75.6%
第 5 学年	79.5%	79.0%
第 4 学年	64.6%	64.8%
第 3 学年	71.6%	75.3%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・「学び合い」を重視した授業の実践をする。（A→教えることで学びを言語化し定着 C D→教えられることで学びの定着） ・教科指導の専門性向上→教科担任制を推進する。 ・一人一台端末を活用した授業の実践をする→研修機会の充実	・学習カルテ、放課後補習教室や東京ベーシックドリルを活用し、基礎基本の定着を図る。 ・学年×10分程度の宿題を出し、家庭学習の習慣を定着させる。 ・デジタルドリル「ミライシード」の活用をする。	・「学び合い」を実現させるための環境づくりの整備をする。→規律と思いやりのある学級経営 ・清新一小学習スタンダードを定着させ、学習規律を徹底する。 ・年間3回の家庭学習週間を設定し、家庭への啓発を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・支援が必要な児童の把握と個々の学力向上に向けたアプローチ計画を立て、実施する。（本人や保護者との個人面談） ・支援に向けてのフォローアップを取り入れた授業内容にする。	・低学年段階からの学習意欲の向上及び学習習慣の定着に向けた、放課後週1回15分程度の「アップ教室」の実施。 ・区学力調査及び定着度調査を活用しCD層児童の学習状況を把握し、放課後学習教室EDOスクの事業者と連携して、実施する。 ・「ドリルパーク」の活用状況を把握し、苦手分野の復習を実施する。	・家庭学習の状況を把握し、目標達成に受けて、本人や家庭への働きかけを継続する。
成果指標	・全国学力学習状況調査「国語・算数の授業内容はよくわかりますか」の肯定的回答割合→90%以上到達。 ・区学力調査意識調査「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の肯定的回答割合→90%以上到達。	・学力定着度調査4年生・5年生の各回平均正答率→80%到達。 ・江戸川区学力調査国語・算数「基礎問題」平均正答率→80%到達。	・区学力調査意識調査「学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」の30分以上の回答割合→90%以上到達。